

福山市で新たな担い手の白ねぎ出荷始まる

【平成31年3月26日掲載】

寶諸孝也(ほうしょ たかや)さんは、福山市内の苗生産農家に勤めていましたが、平成30年4月に、福山市内で白ねぎ、レンコンを基幹品目として独立就農されました。

昨年7月下旬の高温・干ばつという非常に厳しい状況の中、造成された農地で白ねぎを定植し(25a)、栽培を開始しました。初めての栽培で試行錯誤を繰り返す毎日が続きましたが、病虫害防除、施肥管理等の徹底により、今年の2月下旬から出荷を開始することができました。白ねぎ栽培に手ごたえを感じた寶諸さんは、今年作付面積を65aに拡大する予定です。

また、寶諸さんの栽培に影響を受け、白ねぎ栽培に関心がある農家が栽培に取り組む動きも出始めました。今年の2月には、JA等指導機関と地域の生産者等が集まり、ヤンマーアグリジャパン株式会社による白ねぎ収穫機の実演会が開催されました。初めて見る機械に参加者は興味津々で、熱心に機械の説明を受け、作業状況を確認していました。

今後、寶諸さんの経営が安定し、福山地域での白ねぎ栽培の振興につながるよう支援していきます。



【白ねぎの出荷が始まった寶諸氏】



【収穫機実演の様子】

情報提供元

東部農業技術指導所